



この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2023年11月19日号

編集／毎日新聞社カスタマーリレーション本部

ボリショイバレエ・名ダンサーの最終幕

19日(日)=1、3面

迫る



世界最高峰と言われるロシア国立ボリショイ劇場バレエ団で、名ダンサーとして知られた岩田守弘さん(53)＝写真・左＝は、10月下旬に最後と決めた舞台を終えました。

9歳の時から舞台に立ち、19歳だった1990年にソ連末期のモスクワに渡り、本場の踊りを学びました。ボリショイバ

レエ団に入ったのが95年。翌年には外国人として初めてのソリストに昇格した実力者です。

2012年にボリショイバレエ団を退団してからは、東シベリアとロシア中部にあるバレエ団の芸術監督を歴任。指導者として力を発揮しながら、主要な公演では踊り続けてきました。

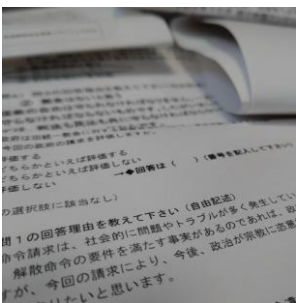
なぜ、岩田さんは引退

を決めたのでしょうか。体力の衰えや年齢を重ねてきたことによる影響は当然あったと思われます。ただ、14年にわたって岩田さんの取材を続けてきた記者は、別の理由があるのではないかと考えました。

プロとして踊り続けた岩田さんが明かした引退の内幕とは？ダンサーの秘めた思いに迫ります。

旧統一教会の解散命令請求 宗教法人アンケート

21日(火)=1、3面



世界平和統一家庭連合(旧統一教会)の解散命令請求について毎日新聞が主要な宗教法人にアンケートしたところ、62法人のうち21法人から回答を得ました＝写真。憲法が保障する「信教の自由」を侵害する懸念があ

るかについては回答が割れました。

政府が民法の不法行為を解散請求の根拠にした点を評価するか、国家権力による宗教団体への恣意的介入を危惧するか、どちらを重視したかで判断が分されました。



建設工事が止まったままの不動産大手・中国恒大集団のマンション



中国の不動産不況が深刻化

19日(日) 総合面

中国で不動産不況が深刻化し、大手不動産会社が次々と経営危機に陥っています。中国では「土地は公有」とされてきましたが、1990年代後半から「使用权」の売買名目で個人が住宅を売り買

いできるようになりました。住宅価格の高騰に沸いていた不動産業界がなぜ、一変したのでしょうか。日本経済は不動産バブルの崩壊をきっかけに経済が長期低迷しました。中国も同じ道をたどるのでしようか。分かりやすく解説します。

特集 ワイド

専門家が語るオスロ合意30年

21日(火)=夕刊2面



ハマス戦闘員に破壊された住宅＝イスラエル南部で10月18日

イスラエル軍とパレスチナ自治区ガザ地区を実効支配するイスラム組織ハマスとの戦闘開始から1カ月が過ぎました。今回の衝突は、イスラエルとパレスチナの「2国家共存」を目指す「オスロ

合意」から30年の節目に起きました。

長年、中東情勢をウオッチしてきた防衛大名誉教授の立山良司さんに、これまでの経緯や今後の見通しなどを聞きました。

竹橋の窓辺から

編集後記



第103回全国高校ラグビーフットボール大会は12月27日に、聖地の花園ラグビー場(大阪府東大阪市)で開幕します。地区大会の決勝戦が行われ、続々と代表校が決まっている真っ最中で、毎日新聞ニュースサイトでは全・代表校決定の記念PDF号外を掲載しています。高校ラグビーファンの皆さん、QRコードから出場決定の喜びの瞬間をぜひご覧ください！(都築葵)



毎日新聞